

外務省外交史料館の最近の活動状況

外交史料館 熊本 史雄

外務省外交史料館については、これまでも多く紹介されてきました。たとえば、所蔵記録の概要、「外務省記録」の定義、「外務省文書分類規程」の変遷などに関しては、ご存知の方も多いでしょう（柳下（山田）宙子「外交史料館所蔵記録の整理と閲覧について」、『びぶろす』、Vol.39、No.5、1988年、を参照）。

そこで、これらの詳細についてさらなる説明を加えることは割愛し、この場では外交史料館の最近の活動状況、とくに「戦後外交記録公開」事業や「情報公開法」施行に伴う新規事業、さらには戦後期『日本外交文書』の刊行状況を紹介したいと思います。外交史料館の事業と組織の概要については、後掲の「データシート」をご参照下さい。

1 戦後外交記録公開

外務省では昭和51年以来、国益や個人の利益を損なうものを除いて、作成後30年以上経過した戦後外交記録を審査のうえ公開しています。本事業は、個別請求に基づいて開示される情報公開法とは異なり、文書を案件ごとにまとめて公開するという外務省独自の制度として自発的に行っています。最近では、平成14年12月24日に第17回公開を行いました。これにより、第1回公開から通算すると、計11,397冊の記録ファイルが公開されたこととなります。これらは、外交史料館で原則としてマイクロフィルムで公開されています。

なお、本事業で公開されるのは「行政文書」ですが、それとは別に、歴史資料として価値の認められる個別の記録を「歴史的文書」として当史料館に移管し、公開することも始めています。その第一弾として、平成15年7月18日に「華人労務者事業場別就労調査報告書」（全40冊）を公開しました。

2 情報公開法に基づき開示された文書のうち歴史資料としての価値が認められる文書（写し）の公開

平成13年4月の情報公開法施行以来、外務省には様々な開示請求が寄せられました。それら請求に基づき開示された文書のなかには歴史資料として重要と思われるものも少なくありません。そこで外交史料館では、一昨年より「情報公開法に基づき開示された行政文書のうち歴史資料としての価値が認められる文書（写し）の公開」事業を開始し、当史料館で公開することにしました。

この事業で最初に公開されたのは、「平和条約の締結に関する調書 ～」（平成13年8月15日開示、同年10月9日公開、約3,000頁）で、その後も、整理の終わった文書から順次公開しています。平成15年10月末現在において1535文書（約19,000頁）を公開しており、今後も順次公開していく予定です。

3 戦後期『日本外交文書』の刊行状況

近年、戦後期『日本外交文書』の刊行に対する要望が内外より高まってきました。その最初として、上述の「平和条約の締結に関する調書 ～」を、『日本外交文書 平和条約の締結に関する調書』第1～4冊として、平成14年3月に復刻・刊行しました。また、同年7月に公開された同調書「 」も同年9月に第5冊として復刻・刊行しました。現在は、サンフランシスコ対日平和条約に関する『日本外交文書』本編の編纂・刊行作業を進めています。

なお、従来から行ってきた戦前期『日本外交文書』の編纂・刊行作業も、戦後シリーズと並行して進めています。



外務省記録

データシート

(平成15年11月1日現在)

- ・機関名：外務省外交史料館
- ・所在地：〒106-0041 東京都港区麻布台1-5-3
- ・電話／FAX：03-3585-4511／03-3585-4514
- ・<http://www.mofa.go.jp/mofaj/> (外務省ホームページ)
- ・交通：地下鉄 日比谷線神谷町駅 (出口2番) 又は
 六本木駅 (出口3番) 下車 (ともに徒歩10分)
 南北線六本木一丁目駅 (出口2番) 下車 (徒歩7分)
 大江戸線六本木駅 (出口5番) 下車 (徒歩10分)
- ・開館年月日：昭和46年4月15日
- ・設置根拠：「外務省内部部局組織規程 第5条」(昭和52年4月18日号外務省令第1号)
- ・組織：(主管組織, 内部組織, 職員数等)
 外務省 —— 大臣官房 —— 総務課 —— 外交史料館
 ┌ 総務室
 ├ 館長 —— 副館長 — 編纂室
 ├ 戦後記録室
 └ 記録整理・閲覧室
- ・建物：本館 鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階
 延床面積 1,708
 閲覧室 84 / 第1書庫 155 / 第2書庫 93
 第3書庫 43 / 第4書庫 41
 別館 鉄筋コンクリート造 地上2階
 延床面積 311
 展示室 92 / 収蔵庫 31
- ・主な所蔵文書：戦前期「外務省記録」約48,000点
 戦後期「外務省記録」マイクロフィルム 1,328リール (11,397冊分)
 条約書 約600件 (約3000点)
 国書・親書 約1,100通
 吉田茂元総理関係資料 約320点
- ・既刊行物：『日本外交文書』全192冊／『外交史料館報』全17冊
- ・閲覧室利用者数：3,621名 (平成13年度) / 3,486名 (平成14年度)
- ・主な活動：① 史料の閲覧
 ② 史料のレファレンス
 ③ 史料の展示
 ④ 『日本外交文書』の編纂・刊行
 ⑤ 開示文書 (写し) の公開
 ⑥ 史料の調査・収集
 ⑦ 講演会、研究会の実施